

OB・OGの交流広場に寄せて

北海道大学卓球部 2013 年卒の小倉です。まだ OB になってから 10 年ちょっとの若輩者ですが、お世話になった方々からご依頼いただきましたので、僭越ながら寄稿をさせていただきます。

全国の国公立大学で卓球大会があるということは、高校時代に OB の方々から話を聞いていました。そのため、大学の入学が決まったとき、国公立大学に進学する卓球部の同級生と「国公立の卓球大会で会えるね。」といった話をしていたことを覚えています。

大学入学後、国公立大学間での交流は思った以上に密なものでした。全国国公立大学卓球大会だけでなく、海外遠征や卓球研修会などにも参加させていただけたのは貴重な体験として思い出に残っています。

毎年開催される全国国公立大学卓球大会は、大学 1 回生から 4 回生まで参加させていただきました。個人での最高成績は第 50 回大会で 2 位になることができました。もちろん 2 位になれて嬉しかった記憶ではあるのですが、決勝で広島大学の荒木亮祐君に完膚なきまでにボコボコにされた記憶でもあります（書いていて思い出してしまいました、3 セットを足して 10 点程度だったと思います）。

第 15 回海外遠征（2009 年 3 月）では、総じてカットマンが少ないチームだったので、ひたすら強い球を受けることがメインでした。一番、印象に残っているのは、フリスビーをしてバックドライブの感覚を掴むという練習方法でした。そこで掴んだ感覚で、ほんのたまにバックドライブを使えたことがあるような気がします（気がするだけかも知れませんが）。卓球関係もそうですが、初めての海外だったので、その中での他の国公立大学の方々や、現地の人々との交流は、それだけでも良い経験になったと改めて感じています。

第 31 回卓球研修会（2010 年 3 月）は、とにかく他の国公立大学の人と試合をたくさんできたこと、偉大なカットマンの渋谷さんに指導いただいたことが良い思い出になっています。

こういった機会以外にも、全日本大学卓球選手権や全日本卓球選手権大会などに出場できたときには、練習相手やベンチコーチを買って出させていただいたこともあり、「国公立大学」で一つのチームのような一体感があつたことを覚えています。

大学時代の卓球人生を振り返ってみると、色々な機会に恵まれ、その中で、北大卓球部 OB・OG の方々や、他の国公立大学の卓球部の方々に大変お世話になったなと感じています。大学を卒業後、就職してすぐは月に 1、2 度は卓球の練習をできていましたが、転勤などの仕事の関係もあり、最近はずいぶんと長い間でできていません。そうこうしているうちに、子供も生まれ、なかなか時間の取れない日々が続いており、日に日に体型も（悪い方に）変わってきました。子供が運動できる年齢になったときには、子供の好みにあうかですが、一緒に卓球をできたら楽しいのかもしれない、なんてことを思っています。

取り留めもない文章となってしまう恐縮ですが、主に大学時代の卓球関係の思い出話のご紹介まで寄稿させていただきます。

写真 1：第 15 回海外遠征のメンバー

写真 2：当時の北大卓球部のメンバー